

将来の国土交通の姿（東北）

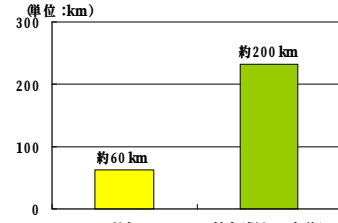
安全で安心できる地域づくり

あぶない通学路が安全で快適になります

◆歩道が雪で埋まり、危険な車道を歩く子供達



●東北の直轄国道における幅の広い歩道整備が拡大します



●幅広歩道の整備延長（H8以降）

●安全になった歩道



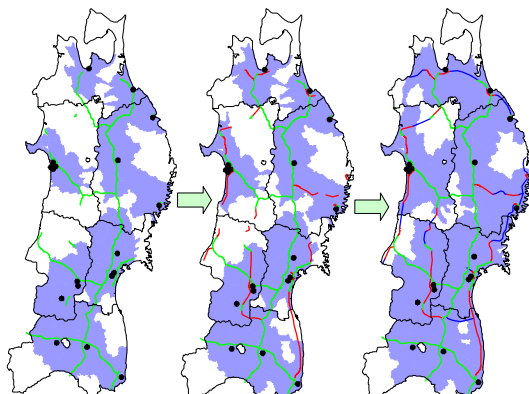
命のたすかる人が増えます

	現在	10年後	将来
高規格幹線道路	緑線	赤線	青線
60分カバー圏	緑色	赤色	青色
高次(三次)救急医療施設	黒点	黒点	黒点

注) カバー率
高次医療施設へ1時間以内で行くことのできる人口の割合

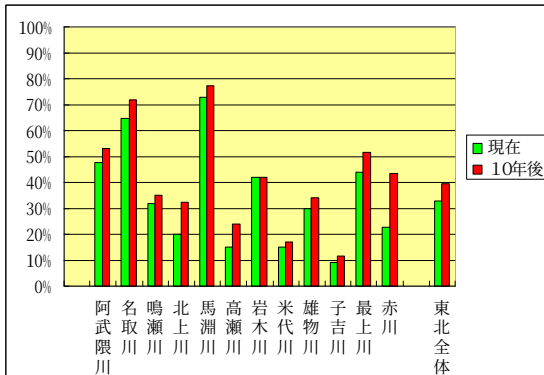
注) 高次救急医療施設：
高度な治療施設・技術を持つ病院

	現在	10年後	将来
カバー率	約 74%	約 80%	約 91%



洪水の被害を軽減し、安心できる地域をつくります

●大きな洪水*に対する安全な区間が増えます



*東北の直轄河川における概ね30年に1回程度の確率で起こる洪水流量に対する整備率
(名取川については概ね50年に1回程度。ダムの洪水調節効果を考慮。)

●阿武隈川平成の大改修による堤防整備状況



平成10年8月 洪水状況(福島県 梁川町)



堤防整備後(福島県 梁川町)

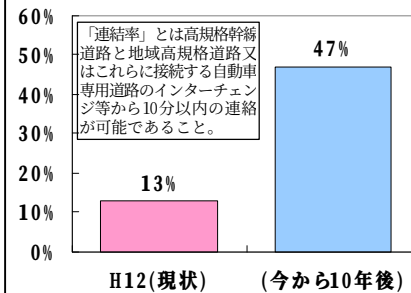
強い東北の創造

国際物流ターミナルの整備や、高速道路などの幹線道路との連結により物流コストが低減されます

港湾整備と幹線道路の連結強化

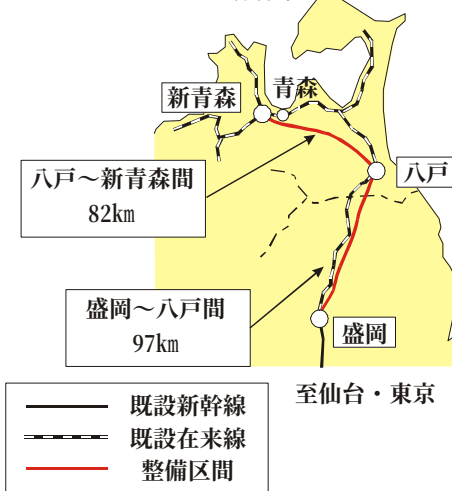
輸送ルートの変更による物流コストの削減

●東北における港湾連結率の変化

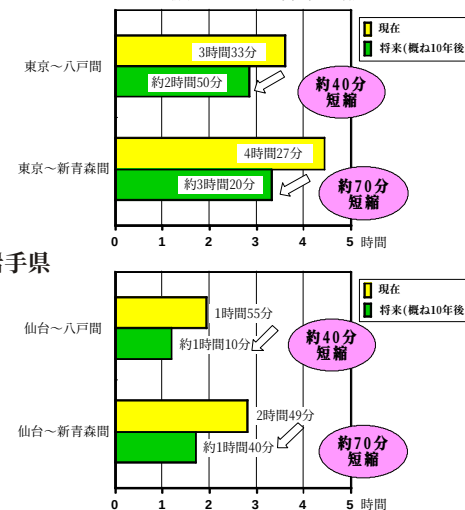


八戸からでも仙台に通勤ができます

●東北新幹線整備区間(フル規格) 青森県

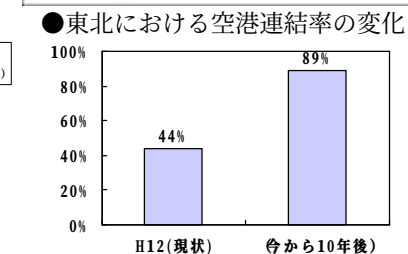


●東北新幹線 盛岡・新青森間 整備による時間短縮



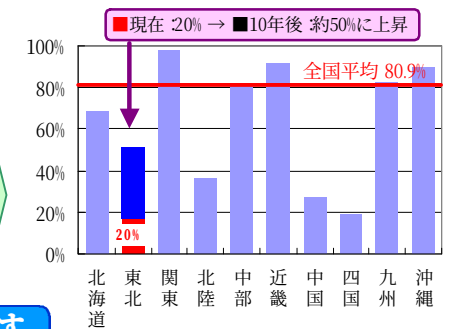
国際線の利用が他県からも便利になります

●仙台空港線整備による時間短縮効果 [仙台駅～仙台空港駅間(仮称)]

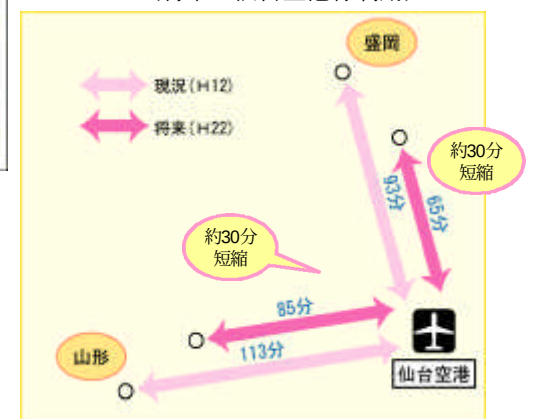


東北地方内の港湾で貨物を取り扱う率が2割から5割へ

●東北における自地域内での貨物取り扱い比率(輸出入)



●仙台空港へのアクセス時間<電車利用> (将来：仙台空港線利用)



都市の再生

街なか居住により、病院・図書館などが利用しやすくなります

開かずの踏み切りを解消します

●街なかに住むと暮らしやすい都市が実現します
・通勤時間が短くなります
・病院、図書館などが利用しやすくなります
・バス、鉄道などが利用しやすくなります
・街のにぎわいが楽しめます

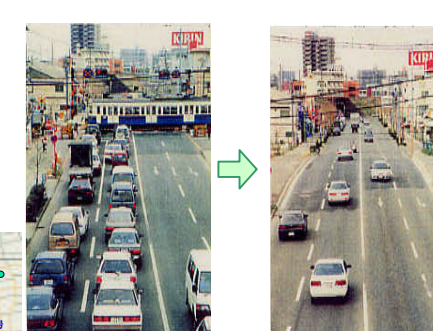


<建物外観予想図>
施設概要: 共同住宅・公共施設・業務施設・店舗・ホテル・立体駐車場



市街地再開発事業：いわき市平一町目

【事例（JR仙石線連続立体交差）】



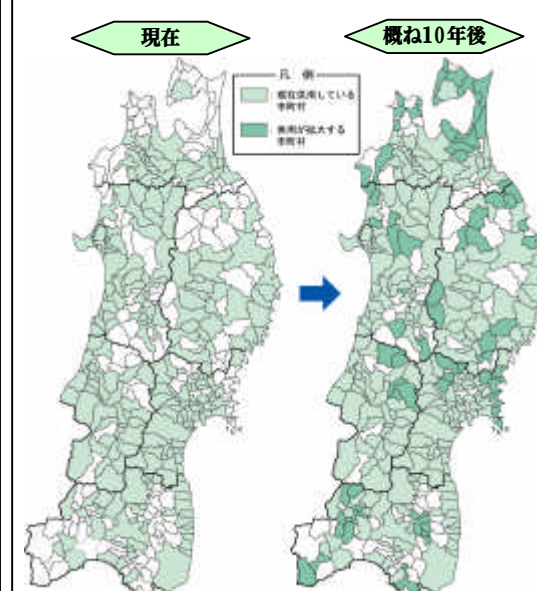
多賀城駅周辺のJR仙石線 (約L=1.7キロ区間) を連続立体化

美しい東北の実現

水洗トイレを利用できる圏域が広がります

美しい海岸がよみがえります

●下水道を供用している市町村



砂浜の浸食状況



仙台湾南部海岸の将来像

